

量子分野 選抜用ルーブリック評価表

区分	評価項目	評価外・評価不可	標準を大きく下回る	標準以下	標準	標準以上	標準を大きく上回る
		0点	1点	2点	3点	4点	5点
分野別	(1) 自身の研究を推進しようとする強い意欲がある	自身の研究を推進しようとする意欲に乏しい。	自身の研究を推進しようとする意欲はある。	自身の研究を推進しようとする強い意欲がある。	自身の研究を推進のみならず、成果公表にも強い意欲がある。	自身の研究を推進と成果公表に強い意欲があり、それらの計画立案にも関わっている。	自身の研究を推進と成果公表に強い意欲があり、それらの計画立案にも主体的に取り組んでいる。
	(2) 自身の研究の周辺分野、さらにその外に広がる科学と技術への関心と、それらを理解しようとする強い意欲がある	自身の研究の周辺分野、さらにその外に広がる科学と技術への関心に乏しい。	自身の研究の周辺分野、さらにその外に広がる科学と技術への関心がある。	自身の研究の周辺分野、さらにその外に広がる科学と技術への関心と、それらを理解しようとする意欲がある。	自身の研究の周辺分野、さらにその外に広がる科学と技術への関心と、それらを理解しようとする強い意欲がある。	自身の研究の周辺分野、さらにその外に広がる科学と技術への関心と、他分野の研究者との相互理解を深めることへの強い意欲がある。	自身の研究の周辺分野、さらにその外に広がる科学と技術への関心と、他分野の研究者との相互理解からさらに自らの研究を深めることへの強い意欲がある。
	(3) 自身の研究が自然科学・科学技術、社会のどのような課題を解決するのか理解している	自身の研究の自然科学・科学技術、社会における重要性が理解できていない。	自身の研究の自然科学・科学技術、社会における重要性を理解する心構えはある。	自身の研究の自然科学・科学技術、社会における重要性を理解し、解決すべき課題との関係を意識している。	自身の研究が自然科学・科学技術、社会のどのような課題を解決するのか、説明できる。	自身の研究が自然科学・科学技術、社会のどのような課題を解決するのか、筋道をたてて、論理的に説明できる。	自身の研究が自然科学・科学技術、社会のどのような課題を解決するのかを論理的に説明でき、その具体的解決方法と効果まで説明できる。
共通	(1) 自身の研究内容を専門外の人にわかり易く説明できる	自身の専門領域の知識が不十分である。	自身の専門領域の知識はあるが、専門外の人を意識した説明ができない。	自身の専門領域の知識があり、専門外の人を意識しているが、十分に理解できる説明になっていない。	自身の専門領域の知識が十分にあり、自身の研究概要を専門外の人にも一定の理解が得られるよう説明ができる。	専門領域の知識が十分にあり、自らの取り組みのオリジナリティとその成果および有用性を専門外の人に理解できるように説明できる。	自身の研究内容の背景、課題、取り組み内容、社会への貢献などを総合的に専門外の人にも理解できるように説明できる。
	(2) トランスファラブルスキルの重要性を理解し、身に着けようとする意欲がある	トランスファラブルスキルを知らない。	トランスファラブルスキルを聞いたことはあるが、説明できない。	トランスファラブルスキルを理解し、その重要性は認識している。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、特定のスキルに対する学びへの意欲がうかがえる。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、特定のスキルを学ぶ具体的な計画を考えている。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、具体的な目的意識を持って計画を立て、特定のスキルを学ぶ活動が出来ている。
	(3) 修了後のキャリアパスを意識し、社会でどのように活躍・貢献したいかを考えている	キャリアパスや将来展望を考えたことがない。	キャリアパスについて考えたことがあるが、具体的な考えまでには至っていない。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、考える準備ができています。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、その具体的な姿を説明できる。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、具体的な姿と自身の考えを説明できる。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会での具体的な姿を目指し、具体的な目標を立てて活動できている。